

お悩み相談室

先生
のための

第3回 [先生として信頼されるには?]

校内の児童からだけでなく、
学校外からも、教員は常に「先生」として
見られています。
保護者や地域の方に信頼感を持ってもらう
ための基本的なポイントを紹介します。

教員になって日が浅いのですが、
服装や電話対応、トラブル対応などに
まだ自信がありません。
気を付けるべきポイントはありますか？



1 服装
保護者会や出張のときは、
スーツかオフィスカジュアルが原則。

保護者や学校外の方に会うときや、
学校の外に出るときは、清潔感があり、
きちんとした印象を与える服装
を心がけましょう。
通勤中、ラフな格好の先生を見か
けて、保護者や地域の方がっかり
…ということもあります。通勤時も、
この原則を意識するのがベストです。

- ジャケット
- カーディガン
- ブラウス
- カットソー
- △ノースリーブ



女性

- 膝丈のスカート
- パンツ
- △ジーンズ
- △ショートパンツ
- パンプス
- △サンダル
- △ブーツ

- 肌色のストッキング
- △レギンス

- スーツ
- △ジャージ
- △ジーンズ



男性

- ダークカラーの靴下
- △素足
- △白い靴下

- ワイシャツ
- ネクタイ

- 革靴
- △スニーカー

2 電話
しっかり名乗って
敬語に注意しよう。

電話を受けたら、しっかり名乗る。

内線
保健室、養護教諭の
●●です。

外線
○小学校
職員室の●●です。



「もしもし」は、学校や会社など、
所属している組織の電話を受けると
きには使いません。

コツ・その2
自分の学校の先生について話すとき
は、謙讓表現を使う。

校長の●●が
申しておりました。

名前の後の「先生」も敬称にあた
ります。「●●校長先生」は「校長
の●●」、「○年の●●先生」は「○
年担任の●●」と言いかえましょう。

トラブル対応

3 3 まずは「傾聴」、それから「報告・連絡・相談」。

学校のできごとについて保護者などから問い合わせを受けることはよくあると思います。クレームだと思っただけで、誠実に対応しましょう。

コツ・その1

まずは「傾聴」する。

問い合わせの内容は、まず最後まで聞きましよう。具体的な状況や先方の主張を十分に確認せずにこちらの意見を伝えてしまうと、不要な言い争いを招くこともあります。



こちらの主張はまず脇に置いて、先方が話しきるまで、状況を整理しながらしっかりと聞きましよう。

あのことには実はこんな事情があるので、こうしてほしいんです。

ご迷惑をおかけしました。対応を検討してお返します。

コツ・その2

「報告・連絡・相談」する。

起きた問題をひとりで抱え込むと、対応が後手になりがちです。対応が難しいと感じたら、初期のうちに関係する先生などに相談しましよう。児童や保護者には、携帯電話など個人の連絡先ではなく、学校を通して連絡をとるようにするのもポイントです。

また、「文書での回答がほしい」など、学校としての対応を求められることがあります。自分で判断せず、必ず管理職の先生と話し合ってから対応を決めましよう。対応の検討と返答は当日中や翌日など、素早く行いましよう。

SNS

4 4 「誰でも見られる」ことを忘れないようにしましよう。

ブログやFacebook、Twitterなど、情報収集や交流にSNSを活用したいと考える先生もいるでしょう。

友人・知人へのみ発信しているつもりでも、実際には世界中の人が見ることが可能です。使用する場合は、載せる情報に十分注意しましよう。

① SNSへの登録

登録しないのが最も安全ですが、活用したい場合は次のような対策をとりましよう。

- 実名のアカウントは持たない。
- 学生時代からのアカウントは削除し、新たに別のアカウントをとる。
- 許可した相手のみ公開する設定にする。
- プロフィールに、教員であることがわかる情報は書かない。



② 投稿内容

● 学校に関わる内容の投稿はしない。校内の様子や行事の様子、学校のスケジュールが分かる写真・記事は防犯上よくありません。子どもや他の先生の顔が入った写真は個人情報保護の観点からも問題があります。学校に関する愚痴や批判を投稿することも避けましよう。



● 業務時間中に投稿したり、反応を返したりしない。

授業がない時間であっても、業務時間中の投稿は当然ながらすべきではありません。「いいね!」ボタンなどを押すのも同様です。

今日から心がけましよう!